

ドクターに聞きました

新型コロナウイルス感染症と

ワクチン接種

元気な日本を取り戻そう

中華人民共和国湖北省武漢市に端を発した、新型コロナウイルス関連肺炎の発生が令和元年12月以降報告され、瞬く間に世界各国に発生が拡大していることは皆さんご存知の通りですが、とうとう令和3年4月には死者数が日本で1万人超、世界の累計も300万人を超えてしまいました。

アメリカ合衆国などでは第二次世界大戦以降の3度の戦争の死者数を超えて増え続けているといえ、その壮絶さがお分かりいただけると思います。

このコロナウイルス自体は以前からいわゆる風邪の原因として知られていますが、2002年にSARS（重症急性呼吸器症候群）、2012年にはMERS（中東呼吸器症候群）というコロナウイルス感染症の流行後、今回の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的大流行に至っています。

このウイルスは人の細胞内に侵入して増殖し、人から人へと感染を拡大します。

ではどうすればこの感染から身を守ることが出来るのでしょうか？

ウイルスは感染者の発症2日前から発症後7〜10日間程度で主に「飛沫感染」と「接触感染」により広がるとされていますので、まず3密（密閉・密集・密接）を避けましょう。

このほかに、飲酒を伴う懇親会、人数や長時間に及ぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の入れ替わり時なども注意が必要です。またパソコンやリモコンなどの共用もアルコール消毒を適切に行いましょう。（昼カラオケ、トイレ、更衣室などでの感染も確認されています。）

また重症化しやすいのは、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧症、肥満などの基礎疾患等のある方と高齢者です。もちろん喫煙も避けま



医療法人
岡本クリニック理事長
岡本 高明先生

久留米大学大学院医学研究科修了 / 医学博士 / 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 / 北九州市医師会理事 / 門司区医師会副会長 / 陸上自衛隊（予備2佐）

趣味 ちよっと古いクルマやバイクが大好きです。



医療法人岡本クリニック
北九州市門司区原町別院 12-19
TEL 093-381-6804

しょう。年齢別では30歳代を1とすると50歳代ですでに10倍、80歳代ではじつに71倍と高率になりますので、確実な感染防止に努めましょう。高齢者を感染から守るためにも周囲の方々の協力が必要不可欠です。

それではもう一つの予防手段、ワクチン接種はどうでしょうか？

今回本邦で接種が開始された「米国ファイザー社」のメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンは通常、3週間あけて2回接種します。なお発症予防効果は95%と報告されています。（ちなみに季節性インフルエンザワクチンは60パーセント程度とされています。）

皆さんが一番心配される安全性については、注射部位の疼痛、全身倦怠感、頭痛、発熱などがみられることがあります。大部分は数日以内に回復しています。まれに接種後にアナフィラキシー反応（急性のアレルギー反応）の発生が報告されていますが、すぐに治療に対応できるよう接種会

場には救急医薬品の配置や一定時間の経過観察などの体制をとっています。

mRNAワクチンについても速やかに分解される安全なものとして提供されています。なにか不安な点はぜひ医師にご相談ください。

最近話題になる重症化しやすい、ワクチンが効きにくい可能性もある変異株についても基本的には3密の回避、マスク着用、手洗いの励行などがこれまで同様に有効です。いたずらに不安にならずこれまで通り予防を行いましょう。

国、県をはじめ北九州市、我々医師会は全力を挙げて皆さんの感染予防と治療に日夜頑張っています。しかし一番大切なことは、一人一人の確実な取り組みです。

今が踏ん張り時です。一日も早く元気な日本を取り戻せるように心一つにして頑張りましょう!!

※本文は令和3年5月現在の情報です。今後も最新の情報をご参照ください。